

九例

遠近の人民互に性情よく相通ト事理よく相通トは新聞紙の如し
なり故に西洋諸國苟もふゆる名ある地は必ず新聞紙局を設
けりて國內國外と論を以て九百の事務と網羅し併せて其事務異國境
話常談を採用し以て日小刊し月小刊し之を傳布するに幾人か
諭し之を説くは概ありて國人甚だこれを便とせざるを公愛。此は
此新聞と刊し之を廣く遠近の事と我と大に内方の情を通し其
古今の變を知り免以て空禪蓋あらんと欲するは蓋 在るの事と見
て天下の事を知るを此小冊子と見ざる亦當なり其情の一斑
を窺ふを

郵便報知新聞第一號

明治五年申六月

○滋賀縣ヨリ當夏外國人避暑ノ為メ湖邊ニ來遊ノコ
トニツキ建言節畧
當國湖水ノ儀ハ其勝景海外ニ聞ハ西人最モ賞譽能ク在
候故ニ近年來入京ノ外國人ハ必ず此地ヲ過ギテ一覽
イタシ就中此節京都博覽會ニ參集シ革陸續來遊甚々
風景ヲ愛シ或ハ寫真ニ取り候偶々朝陽雖山映湖面等
ノトキニ當テハ世界第一ノ絶景ナリ過賞ヲ下スモ
ノモ之アリ依テハ管下ノ人民モ此ニ誘動セラレ追々

及コ行月 第一號